

授業科目	人間関係指導法	1単位	選択	選択	1学年前期	担当 教員	教授 池田 正雄
------	---------	-----	----	----	-------	----------	----------

授業の概要	① 乳幼児期は人間関係の在り方の基礎をつくる大切な時期であり、愛着や絆を基礎にしたコミュニケーション能力の醸成についての理解を深める。 ② 保育所保育指針や幼稚園教育要領に記されている「人間関係」の内容の理解及び乳幼児期の特性や環境を通して行う保育（人間関係）についての理解を深める。 ③ 保育園や幼稚園での人間関係を育てる保育内容の事例研究をディスカッション、プレゼンテーション、ロールプレイング、を取り入れて進めていく。 ④ 子どもの人間関係力を育てる保育をテーマに指導計画の立案、模擬保育の実践と振り返りを行う。
-------	--

到達目標	学習成果Ⅰ			学習成果Ⅱ			学習成果Ⅲ		
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
1. 保育所保育指針や幼稚園教育要領の「人間関係」のねらいと内容を踏まえた指導法についての理解を深める。				◎	○	◎		○	
2. いろいろな保育の体験を通して「生きる力の基礎」を築き、人とかかわる力、コミュニケーション力を高めるための工夫や援助方法を理解する。	○	○	○	◎	○	◎		○	
3. 子どもの発達過程を考慮しながら、環境・遊びを通し人間関係を育てる保育内容を理解し、基礎的援助ができる。				◎	○	◎		○	
4. 幼児の認識・思考、動き等を視野に入れた保育の構想の重要性を理解している。				○	○	○		◎	
5. 領域「人間関係」の特性や幼児の体験との関連を考慮した情報機器及び教材の活用方法を理解し、保育の構想に活用することができる。				○	○	○		◎	
6. 領域「人間関係」の指導案の構成を理解し、具体的な保育を想定した指導案を作成することができる。				○	○	○		◎	○
7. 模擬保育とその振り返りを通して、保育を改善する視点を身に付けている。				○	○	○		◎	
8. 領域「人間関係」の特性に応じた保育実践の動向を知り、保育構想の向上に取り組むことができる。				○	○	○		◎	

凡例 ◎：学習成果Ⅰ～Ⅲを獲得するために特に重要な目標、○：学習成果Ⅰ～Ⅲを獲得するために重要な目標 査定項目①～⑨はivページ参照

	主 題	準備学習	本時の学習内容と到達目標	復 習
1	オリエンテーション	シラバスに目を通しておく	授業の進め方および評価の方法を理解する	ノート、教科書、参考図書等の確認
2	現代社会の子どもの人間関係の特徴と領域「人間関係」	社会的に隔離された子どもについて調べておく。テキスト1章	子どもを取り巻く環境としての「人間関係」について理解する。	環境としての人間関係についてまとめる。
3	教育要領、保育指針における領域「人間関係」のねらいと内容	領域「人間関係」を確認しておく。テキスト3章	領域「人間関係」の変遷を通して時代や社会の変化に伴い、ねらいや内容が大きく変わっていったことを理解する。	領域「人間関係」の変遷を確認する
4	取り組むべき新しい課題①～道徳性の芽生え	領域「人間関係」の内容における道徳性に関する点を確認しておく。テキスト13章	生きる力としての道徳性の芽生えを培うことについて、事例研究を行う。(ディスカッション、プレゼンテーション)	「生きる力」の核となる豊かな人間性、道徳性の芽生えについてまとめる。
5	取り組むべき新しい課題②～チーム保育	チーム保育の実態を調べておく テキスト4章3節	子どもの育ちを支える園内の協力体制（チーム保育）について事例研究を行う（ロールプレイング）	チーム保育を成功させるための要件をまとめる。
6	取り組むべき新しい課題③～地域子育て支援	地域子育て支援事業を調べておく。テキスト4章2節	人間関係の育ちを図る地域子育て支援を理解し、これからの子育て支援を考える。	自分の住んでいる地域でどのような子育て支援をしているのかについてまとめる。

7	取り組むべき新しい課題 ④～小学校への移行	小学校への移行に伴う問題について調べておく。テキスト第12章	小学校へのスムーズな移行に関連して小1プロブレムなどの課題について考える。	小学校との連携についてまとめておく。
8	人間関係の発達とその問題 (1) ～愛着・自己意識	自己意識の出現過程の具体例を調べておく。テキスト1章2節、第2章3節	子どもの愛着形成、自己意識の発達について理解する。	乳幼児期の自己意識の発達についてまとめる。
9	人間関係の発達とその問題 (2) ～社会性①	乳幼児における社会性の発達について調べておく。テキスト7～11章	仲間とのかかわりで育つ子どもの社会性①コミュニケーション能力、きまりを理解し守る力、自己制御機能	乳幼児期における社会性の発達の特徴をまとめておく。
10	人間関係の発達とその問題 (3) ～社会性②	乳幼児における社会性の発達について調べておく。テキスト7～11章	仲間とのかかわりで育つ子どもの社会性②思いやりを持つ心、いざこざを解決する力 (絵本・紙芝居等の教材の活用)	乳幼児期における社会性の発達の特徴をまとめておく。
11	遊びの中で育つ「人間関係」(1) ～指導案	指導案作成のための準備をしておく。テキスト5章～11章	主体性・自主性・協同性をテーマにした指導案の作成(情報検索など情報機器の活用)	指導案の作成方法について見直す。
12	遊びの中で育つ「人間関係」(2) ～模擬保育	模擬保育の準備をしておく。テキスト5章～11章	主体性・自主性・協同性をテーマにした指導計画に基づく保育の実践：模擬保育	模擬保育の反省をしておく。
13	遊びの中で育つ「人間関係」(3) ～振り返り	模擬保育に関する反省・課題を考えておく。テキスト5章～11章	主体性・自主性・協同性をテーマにした指導計画に基づく保育の実践の振り返り	自己の課題を明確にする。
14	保育者と子どもの「人間関係」	保育者と子どものかかわりについて確認しておく。テキスト5章～11章	乳幼児の心理的安定の基盤としての保育者の関わり、幼児の仲間作りと保育者のかかわりを理解する。	状況に応じた適切で多様な言葉掛けができるよう、いろいろな事例を考えまとめる。
15	領域「人間関係」と他の領域との関連	教育要領、保育指針の5領域のねらい、内容を確認しておく。テキスト3章1節	遊びを通じた経験は、領域を相互に関連しあって、子どもの成長・発達につながっていることを理解する。	15回の授業を振り返る。
成績評価	授業課題：30%、発表：10%、期末試験60% 合計100%			
教員からのコメント	現在の社会では、子どもたちの居場所がないことをサンマ(三間)がないという。三間とは、仲間、時間、空間のことである。かつては子どもたち仲間と、時間を気にせず、近所の広場であそんでいるうちに自然と社会性を身に付けた。しかし、近年は少子化社会と情報化社会の進展により親が子供の生活を管理する傾向が強まったり、人と人の直接のかかわりの軽視化傾向がある。その影響か、人間関係が苦手な子や感情コントロールが上手にできない子が増加してきており、一種の社会問題となっている。このような状況の中、体ごとぶつかり、目を輝かせながら友達と一緒に遊ぶ子供の姿が着目されている。愛着や絆の形成、身心の安定、道徳性の芽生えなど全て身の回りの人や教師などとの信頼関係、人間関係から生じるので、保育の重要性はどんなに強調しても強調しすぎることはないであろう。			
教科書	書名 子どもと保育者でつくる人間関係 著者 横山 真貴子編著 発行所 教育情報出版	推薦図書	書名 人間関係 著者 塚本美和子・大沢裕編著 発行所 一藝社 書名 平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 発行所 チャイルド本社	

